

報道関係各位

武蔵野美術大学とパワープレイス株式会社が、 地域資源の再開発に関する産官学プロジェクトを開始



武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：長澤忠徳 以下、本学）とパワープレイス株式会社（所在地：東京都中央区/代表取締役社長：前田昌利）は、地域資源の再開発に関する産官学プロジェクトを開始しました。

産官学プロジェクト概要

本学とパワープレイス株式会社は、「地域資源再開発とインハウスデザインのデザイン戦略開発に関する研究」を共同で実施します。

また、本学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科（CI 学科）および大学院造形構想研究科造形構想専攻クリエイティブリーダーシップコース（CL コース）の学生とパワープレイス株式会社の研究員との人材交流の中で、地域資源の再開発研究に関する提案を行います。

本学学生が実践する社会課題解決

本学 CI 学科および CL コースは、美術・デザインを学ぶことで身につく力、創造的思考力を持って、社会の中で実践的に学ぶことを目的として、2019年に開設いたしました。

2019年入学のCI 学科1期生は、2年間本学鷹の台キャンパスで美術・デザインの基礎、フィールドリサーチ、イノベーションに関する歴史的背景を学び、2021年度より学科と同時開設した市ヶ谷キャンパスで、提携企業・自治体と社会課題解決型プロジェクトを共創していきます。

本プロジェクトを含め、企業や自治体等と連携し、持続可能な未来社会について、様々な分野の専門家と対話しながら、実社会における様々な問題に取り組んでいます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス事務室 担当：武藤・鈴木

03-5206-5311（電話）／03-5261-3700（FAX）／rcsc_staff@musabi.ac.jp